

NIRA研究報告書

『データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ
—東日本大震災復旧・復興インデックス（2013年3月更新）—』

東日本大震災から2年が経過した。NIRAは、この度、復旧・復興の状況の全体像を把握することを目的に公表してきた「東日本大震災復旧・復興インデックス」の改訂を行った。今回は、インデックスを2012年12月分まで延長し、震災発生後1年9か月間の復旧・復興状況の推移を把握するとともに、産業基盤・生活関連基盤の毀損の状況や、生活者の視点に立った復旧・復興の状況を概観した。

1. 東日本大震災復旧・復興インデックスで見た被災3県の状況

本インデックスは、大震災で津波被害を受けた地域（被災37市町村）の復旧・復興の状況及びその推移を把握する次の2本の「指数」からなる。①被災地での生活を支えるインフラの総合的な復旧度を示す「生活基盤の復旧状況」指数、及び②被災した人々やその地域の生産・消費・流通などの状況を総合的かつ時系列に把握する「人々の活動状況」指数。いずれも、震災直前の状況を100とした指数である。

○被災3県の「生活基盤の復旧状況」：復旧の進捗テンポは緩やかなまま

今回延長分（2012年4～12月分）をみると（図表1）、宮城県と福島県では緩やかな進捗テンポは維持されているが、岩手県では進捗のテンポが更に緩やかになっている。

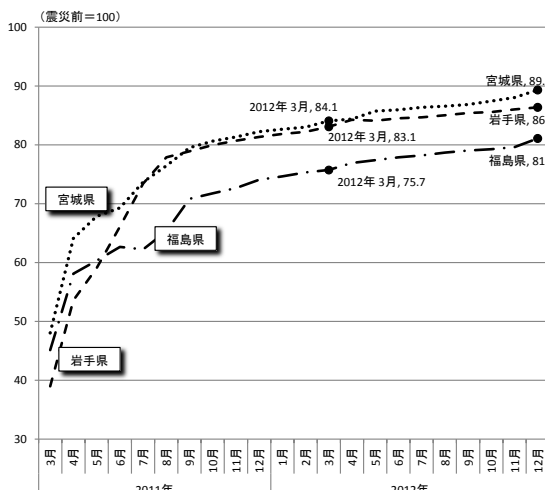
瓦礫撤去・処理は改善がみられ、義援金支払済率の改善も指数の伸びに寄与した。岩手県と宮城県では、教育・医療基盤や交通インフラなど息の長い取組が必要となる分野の進捗が小幅にとどまった。福島県では、原発警戒区域等の見直しなどもあり、応急仮設住宅への移転や小中学校の復旧状況にも改善がみられ、人口移動の関係の指標も改善傾向を示した。

○被災3県の「人々の活動状況」：産業活動の全国的な弱さを受け、低下傾向

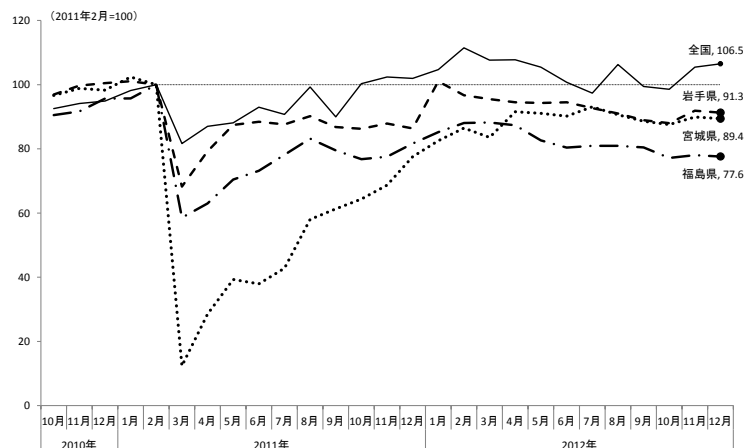
時系列でみると（図表2）、全国の指数値が2012年初から低下傾向にある中、岩手県と福島県は、全国の動きと同様に低下し、宮城県は同年第2四半期以降に若干低下した。鉱工業生産や大口電力使用量など、世界経済の動向の影響を強く受ける指標の値が低下したことが、指数低下の主な原因である。消費、住宅着工や雇用は、2012年に震災前水準を回復した。

活動水準でみると、岩手県と宮城県はほぼ同水準で、福島県の指数は低く推移した。

図表1 「生活基盤の復旧状況」指数の動き



図表2 「人々の活動状況」指数の動き



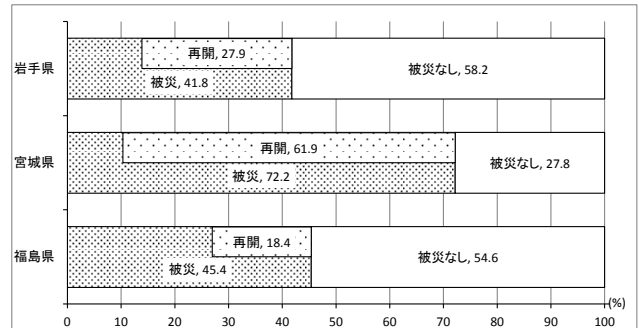
2. 産業基盤・生活関連基盤はどの程度毀損していたか

人々の活動が、中長期的な復興の中で回復を続けていくかどうかについては、被災地における関連の産業基盤や教育・医療・介護などの生活関連基盤がどのようになっているかを知る必要がある。

例えば、被災地の商工業者の多くが被災したが、「被災なし」と「再開」を合わせると（図表3）、岩手県では86%、宮城県では90%が事業を継続・再開している。しかし、福島県では73%にとどまる。他方で、県レベルでは新規設立法人企業数が前年比で増加し、また、被災地にも新規設立の動きがみられ、このような動きが今後も続けば、長期的な雇用が創出され、被災地の活気も高まっていくものと考えられる。

報告書では、同様の分析を、統計等に基づき、農業・漁業や、教育、医療・介護について行っている。

図表3 商工業者の事業再開状況



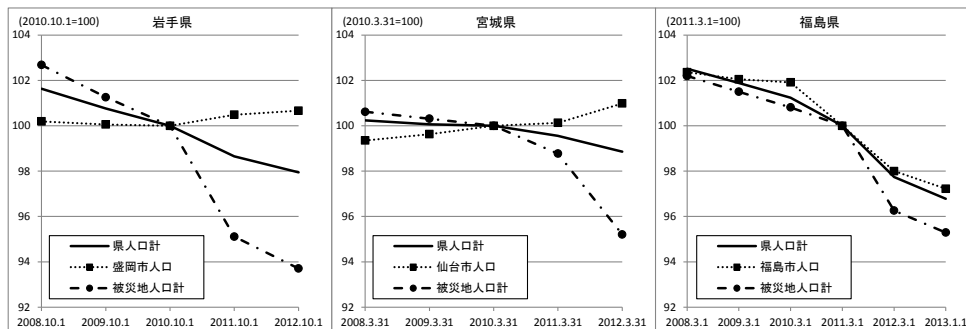
（図表3の出所）報告書の図表3-4-3を参照。

3. 被災3県の生活者の状況

生活者の視点に立ったとき、復興状況をどのように捉えるかを、様々な統計・データ等により分析した。例えば、人口の推移をみると（図表4）、岩手県と宮城県では、人口が被災市町村から県庁所在地等の都市に向かう一方、福島県では、被災市町村から、福島市以外の、県内の被災地近辺の市町村や、県外に移動している可能性が窺える。

なお、報告書では、被災生活において特に困難を抱えやすいとされる高齢者と女性に焦点を当て、生活環境、生活・健康状況、就労状況などを分析している。

図表4 被災者が、岩手県・宮城県では県庁所在地に、福島県では県外と被災地近辺に向かう



（図表4の出所）報告書の図表4-2を参照。

*本報告書の全文はNIRAホームページでご覧いただけます。

NIRA研究報告書『データが語る被災3県の現状と課題Ⅲ ー東日本大震災復旧・復興インデックス（2013年3月更新）ー』（http://www.nira.or.jp/outgoing/report/entry/n130308_698.html）

本件に関するご連絡先：
 総合研究開発機構 研究調査部
 主任研究員 斉藤徹史・江川暁夫・森直子
 Tel : 03-5448-1730・1718